

名高速管理用通行証紛失事案

- ・発生日時（発覚）： 2023年4月10日（月） 11時30分頃
- ・維持修繕名： 2022年度 名神高速道路 ■■■管内維持修繕業務
- ・事案発生場所： 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋■■■事業所
- ・対象車両： ■■■（連絡車）
- ・概要： 名古屋高速道路公社発行の「管理用通行証」を誤って車両鞆と一緒に廃棄してしまったもの
- ・紛失状況： 令和4年7月末に車両を廃車した際に、通行証を誤って使用しないように車両鞆に入れた状態で金庫の中に保管した。令和4年8月23日10：00頃、金庫内を整理するために金庫の中に保管してあった車両鞆を廃棄した。
令和5年4月10日年度更新のため通行証の整理をしていた際、鞆の廃棄時に通行証を取り出し忘れたことに気付いた。
廃棄した車両鞆は「事業系一般廃棄物」として契約業者が、■■■市指定の一般廃棄物最終処理場へ直送し処分したことを確認した。

名高速管理用通行証紛失事案

【原因】

- 発行条件に「有効期限が経過し、または不要になったときは、直ちに返納してください」と記載されているが、年一回の更新時にまとめて返納していた。
- 日々の管理においても、業務用プレートは貸出時や返納時に車両鞆から取り出しその都度第三者が確認をしているが、「名高速管理用通行証」はその都度の確認していなかった。

【再発防止策】

- 通行証は、車両の更新や廃車などで不要になった際、その都度速やかに返納します
- また合わせて日々の確認強化を行います。具体には使用前後に「車番」と「業務用車両証明書」「業務用プレート」「名高速管理用通行証」が整合しているかを第三者が確認し、使用簿に記入捺印を行います。また確認がプレート等と一緒にできるように透明の同じケースの中に「名高速管理用通行証」を入れ管理します。
- 安全大会で「名高速管理用通行証」と「業務用プレート」使用方法について教育を実施（4/19）しました。

なお今後ICチップを利用した強化した管理手法の導入を計画し、その結果を速やかにNEXCOに報告します。

